

自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「イキトモ」

VOL.  
**19**  
SPRING  
2020



／ 街中の ／

**自然にふれよう!**

## 新宿御苑

たくさんの昆虫と植物が生息、生育する庭園

新宿御苑は都心部に位置する庭園です。御苑内には少なくとも1000種<sup>※</sup>を超える生きものが確認されています。最も種数が多いのは昆虫で、550種<sup>※</sup>以上。池の近くではギンヤンマなどトンボの仲間、樹木の生い茂る場所ではツクツクボウシなどセミの仲間や、コクワガタなどの甲虫も。原っぱのような場所では、カマキリやバッタ、キリギリスの仲間など、実に様々な昆虫がすんでいます。次に多いのは植物で、500種<sup>※</sup>以上。栽培品種だけでなく、野生で見られるような在来植物もたくさん生育しています。また40種<sup>※</sup>ほどの鳥が見られ、樹林の中ではシジュウカラをはじめとする小型の鳥類を、冬の池ではオシドリなど渡り鳥の姿を見ることがもできます。広大な敷地の中には、自然とのふれあいを楽しむためのエリア「母と子の森」があり、自然観察会も開かれています。園内を散歩しながら様々な生きものを観察してみましょう。

※生物の確認種数については、平成20年度から27年度にかけて行われた複数の調査結果に基づくものです。

🔍 探してみよう



左上／4～5月に紫色の花を咲かせるアケビ。  
 右上／コクワガタのオス。広葉樹の樹液に集まります。  
 左下／ニホントカゲは日当たりのいい場所がよく見られます。  
 右下／和のスパイスとしても知られるサンショウの葉。

## 都市の身近な自然

都市は自然とかけ離れた場所と思われがちですが、意外とそうでもありません。都市の中にある公園や河川敷、広大な緑地では、様々な草木や昆虫が見られます。特に規模の大きな公園・緑地は、何百種類という様々な生きものが集まる、生物多様性の高いスポットとなっています。

近隣に住む人々の憩いの場や災害時の避難場所等、地域のための様々な役割を果たすために整備されてきた都市部の公園や緑地は、一方で、都市部では貴重な、様々な生きものや生物多様性の恵みにふれるきっかけの場、学びの場としての価値も高いのです。生きものや自然に興味をもつことで、自分もその中の一歩であることを理解し、つながりを意識して過ごしましょう。

## DATA

●新宿御苑：東京都新宿区内藤町11。9時～16時(時季により延長)。月曜・年末年始休。入園料500円。ゆったりと広がる芝生と自然のままに育った巨樹が特徴の風景式庭園。[動植物の採取は禁止されています] 写真提供／環境省新宿御苑管理事務所

# 葛西臨海公園 葛西臨海公園

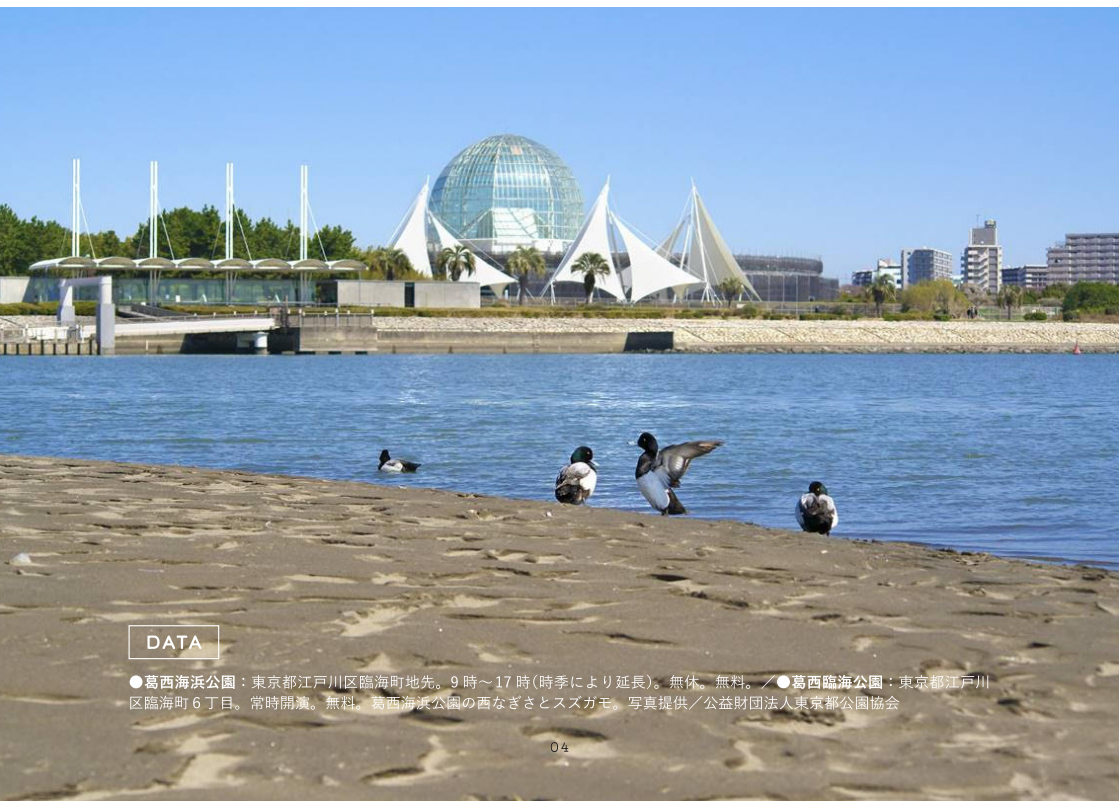
東京都江戸川区

東京湾に面した葛西臨海公園と、その沖合に浮かぶ人工渚である葛西海浜公園は、ともに東京都によって整備された公園です。海浜公園の先に広がる干潟・浅場は三枚洲と呼ばれ、この周辺には様々な渡り鳥が飛来します。スズガモの一大飛来地になっており、冬には1万羽を超える大群を観察できることもあります。またミヤコドリやハマシギなどシギ・チドリの仲間が、渚を歩いたり、えさをついばんだりする姿も見られ、よく目を凝らして観察すれば、このような鳥たちのえさとなる貝やカニ、ゴカイなどの仲間も、公園内で見つけられるかもしれません。水族園や鳥類園の施設もあり、都心からすぐ近くでたくさんの生きものにふれられる環境が整っています。

🔍 探してみよう!



上：しゃもじ型の平たいくちばしを持つヘラサギ。  
中：大きなクチバシを持つチュウシャクシギ。  
下：海岸の崖地で見られるイソギク。10～11月に花をつけます。



DATA

●葛西海浜公園：東京都江戸川区臨海町地先。9時～17時(時季により延長)。無休。無料。／●葛西臨海公園：東京都江戸川区臨海町6丁目。常時開演。無料。葛西海浜公園の西なぎさとスズガモ。写真提供/公益財団法人東京都公園協会

🔍 探してみよう!

公園の池/お堀

## マガモ



冬季に渡り鳥として日本にやってきて、都市部の公園の池や城址の堀などに浮かんでいることも。水草など餌になる水辺の生きものをついばむ様子もよく見られます。

🔍 探してみよう!

土手/公園

## ネジバナ



ピンク色の花をらせん状に咲かせるネジバナは、野生のランの仲間では珍しく、湿った日当たりの良い土手や公園の芝生等、人の生活圏の近くでもしばしば見られます。

🔍 探してみよう!

庭/公園

## アゲハチョウ



春から秋にかけてよく見られ、成虫は様々な花で蜜を吸います。柑橘類の庭木では、成虫が卵を産みにきたり、幼虫が葉を食べたりする様子を観察できます。

＼もっと近くにたくさん！

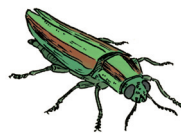
## 🔍 探してみよう!

公園や緑地以外にも河川敷や街路樹、庭先といった身近な場所でも様々な生きものを見ることができます。どんな場所にどんな動物や昆虫、植物がいるのかな？

🔍 探してみよう!

庭/公園

## タマムシ



金属のような光沢のある美しいタマムシの成虫は6月から9月の夏に姿を現わします。ケヤキやエノキなどニレ科の広葉樹のある公園をよく探すと見つけられるかも。

🔍 探してみよう!

河川/水田

## アオサギ



全国で見られるサギの仲間。餌となる魚やカエルなどを狙って、よく水辺に行んでいます。ずっと見ていると、狩りに成功し、魚などをくわえている様子を観察できることも。

🔍 探してみよう!

街路樹/神社

## クスノキ



幹まわりが10m以上、高さ20～40mの巨樹に育つことも。初夏に黄白色の花が、秋には黒い実がなる。葉や木材に芳香があり、天然の防虫剤「樟脳」の材料にもなります。

🔍 探してみよう!

庭/公園

## アズマヒキガエル



大型のカエル。水辺から離れて暮らすことも多く、公園や民家の庭で見つかることも。おおよそ東北から近畿にかけて生息。西日本にはよく似たニホンヒキガエルが分布。

# 1 虫好きで知られていらっしゃいます。 昆虫に興味を持ったきっかけを教えてください。

私は東京育ちですが、小さいころ私が住んでいた辺りは当時はまだ田舎で、都内でも身近に昆虫がたくさんいました。学校帰りに草むらや、畑もあり、そこに昆虫がたくさん潜んでいたのも、興味が自然に沸きました。

SPECIAL  
INTERVIEW

香川照之

かがわ・てるゆき 1965年  
生まれ。ドラマや映画で俳優  
として俳優として活躍する一  
方で、教育番組で昆虫の魅力  
を子どもたちに発信。昆虫デ  
ザインの親子向け服育ブラン  
ド『Insect Collection』のプ  
ロデューサーを務める。

TERUYUKI  
KAGAWA

面白いと感じる興味の芽から  
生命や自然の尊さにふれてほしい

## 2 自然や生きものに触れることの 大切さについてどう思われますか？ どのように自然や生きものと 触れ合うことをお勧めされますか？

人間だけがこの地球に住んでいるわけではなく、小さかったとしても命の数でいえば、昆虫の方が圧倒的に多い。身近な公園にいる昆虫を生で見て、人間は様々な生き物と共存しているということを実感してほしいです。都心部でもたくさん公園はありますし、自然や生きものに触れる大切さ、日本特有の四季を感じながら学ぶ場としてもおすすめです。

子供たちが自然と触れ、生物への関心が大いに深まるはず。ある程度人の管理が入っていますので、危険も少なく、安心して自然観察ができるのではないのでしょうか。

# 5 読者へのメッセージを お願いします。

昆虫の魅力を通して、生命の偉大さ、長い地球の歴史に想いを馳せる子ども達がどんどん出てくることは、自然環境維持に寄与するのではないかと考えています。子ども達は純粋です。素直です。「昆虫って面白い」まずはそこから。親御さんや御先生方は、その興味の芽をぜひ育ててあげてほしいですね。

## 4

昆虫にはどんな魅力があり、  
そしてどんな発見が  
ありましたか？

昆虫の魅力は、容易に語りつくせませんが、一番は『本能』。彼らは、生きるということに全力をかけています。生態としてあらかじめ決められた以上のことも、それ以下のこともしない。今回の絵本の主人公ホタルもたった1週間しか成虫として生きないのに、みな同じ輝きを放ちます。親から教えられたわけでもなく、本能で光り求愛している行動は、不思議であり魅力です。

## 3

昆虫に関する絵本を  
出版されるとのことですが  
どのような物語でしょうか？

INSECT LAND という、昆虫たちが主人公になるシリーズ絵本で、第一作目の主役はヒメボタルのアダムくん。アダムは、はずかしがりやさんなのに、事あるごとにおなかで光って目立ってしまうのを悩んでいました。しかしほしぞらパーティーの夜、悪天候で星が見えなくなってしまった時に、ホタルたちが光ることによって皆に星空を見せてあげることができたというお話です。





今回のMY行動宣言は

“ふれよう”

生物多様性の恵みを受け続けられるように5つのアクションの中からできることを選び、あなたの「MY行動宣言」として宣言し、今日から行動しましょう。

# MY行動宣言しよう!



自然の中へ出かけ、動物園、水族館、植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。

近くの公園や動物園、水族館、植物園、博物館から少し離れたところにある森や海へ。いろいろな人と、いろいろな季節に、生きものの世界をのぞいてみよう。生きもののためにできること、生きものに“ふれる”ことから始めてみましょう。

## 認定連携事業

生物多様性を守るために連携して取り組んでいる事業を認定し、広報活動を行っています。

『愛知目標達成のための業種・業態の枠を超えた企業団体による生物多様性保全活動の推進・展開』

環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)

中部地区の異業種連携で活動するEPOC(会員企業265社(2019年7月時点))は、生物多様性保全活動促進に関するセミナーの企画や事例共有などにより、各社の活動支援を展開しています。今後も事業活動・本業における生物多様性保全活動の主流化への取組などを継続的に促し、レベルの向上を目指していきます。



## 生物多様性 キャラクター応援団

～全国のキャラクターからのおしらせ～



福島県の地球環境保全のキャラクター  
エコたん(福島県)

尾瀬や猪苗代湖に代表される、福島県の豊かな自然で生まれた地球環境保全キャラクター。座右の名は「エコは1日にしてならず」。節電・節水・エコドライブが得意で、マイバッグの活用を勧め、レジ袋の削減をはじめ地球環境にやさしい取組を紹介しています。「かけがえのない自然を未来に引き継いでいくために地球環境を守っていきましょう!」

